

大学時代の経験が礎に

生まれは岡山市。西大寺高校の出身です。地元でしっかりと教育を行っている大学ということで岡大、それから、子どもと一緒に活動するのが好きだったので、教育学部小学校教員養成課程を選びました。

大学ではグリークラブに所属して歌を歌っていました。それから、堅苦しい舞踊ではなく体を動かすことの楽しさを教えてくれる授業を受けたことから、ダンスにハマり、ダンス部でないにも関わらず、ダンス大会に出場したりしていました。歌と踊りと、かけもちのような感じで過ごすうちに、表現のテクニクを深めたくなって、ジャズやバレエを始め果ては劇団四季の舞台を見たことがきっかけで、タップダンスまで習うほどでした。

学生時代に歌と踊りに触れたことが、今の仕事につながっているわけです。私にとって大学時代の経験は財産です。

「今からでは遅い」といふことはなく

大学3・4年生のころには、歌と踊りが生活の中で大きな部分を占めるようになっていました。卒業後、小学校の教師になってもその熱は冷めませんでした。舞台を見ると「人生って捨てたもんじゃない」と、元気が出るので頻りに鑑賞しましたし、自分でも役者としてミュージカルの舞台に立つなどしていました。そうするうちに、舞台上で演じる喜び、舞台を見たときの感動は年を追うごとに自分の中で強くなっていきました。そして、教師生活10年目には「やらないうよりはやって後悔したい」と、ついに劇団四季のオーディションを受け、役者に転身しました。31歳の時です。役者は才能がある人がなるものだし、年齢も年齢だし、正直、1年でクビになるんじゃないかと自分でも思っていたんです(笑)。でも、入団しただけで満足はせず、入団したからには活躍したい、と意志を強く持って、懸命に努力しました。そのおかげで今の自分があります。

岡大異ベンチャーな人紹介

岡崎 克哉さん

劇団四季 俳優

アヌイ・ジロドゥのフランス演劇「ミュージカル」ライオンキング」など名作を上演していることで有名な「劇団四季」。ここで教師から俳優に転身して活躍する岡崎克哉さんに、舞台にかける情熱と学生時代の思い出について語っていただきました。



▶岡崎克哉 (おかざき かつや)  
1971 (昭和46)年 岡山県岡山市生まれ  
1993 (平成5)年 教育学部卒業  
2003 (平成15)年 劇団四季に入団。  
「ライオンキング」執事ザズ役、「アンデルセン」校長役、「エルコスの祈り」ストーン博士役などを演じている。

公演情報

『ライオンキング』ロングラン上演中  
四季劇場 [秋] (東京・浜松町)  
『エルコスの祈り』2010年 全国公演決定  
劇団四季ホームページ▶ [www.shiki.gr.jp](http://www.shiki.gr.jp)  
チケット予約▶ 0120-489-444  
四季ONLINE TICKET▶ <http://489444.com>



▲撮影：上原タカシ ©Disney



▲撮影：阿部章仁

生きることの素晴らしさを伝えたい

今は「ライオンキング」などの舞台上に立つほか、ミュージカル「エルコスの祈り」の公演を受け、役者に転身しました。31歳の時です。役者は才能がある人がなるものだし、年齢も年齢だし、正直、1年でクビになるんじゃないかと自分でも思っていたんです(笑)。でも、入団しただけで満足はせず、入団したからには活躍したい、と意志を強く持って、懸命に努力しました。そのおかげで今の自分があります。

目の前にあることをやりきる

演で全国を回っています。演劇を通じて「生きることは素晴らしい」というメッセージを皆さんに少しでも届けたいと考えています。会場での観客の様子、カーテンコールでの拍手などでメッセージが伝わったと思えた瞬間が何よりも喜びで、やりがいを感じます。俳優としてあり続けるため、今後ともトレーニングを怠らず、感性を磨き続けたいと思います。

仕事を始めたら、絶対に学生時代に勉強しておけばよかった、と思うはずなんです。だから、学生時代には勉強して欲しい、といいたいところなんです。実感がつかめないでしようし、やりたいこともわからないという人がいると思います。だったら、たとえばバ

イトでもいいし講義でもいい。とにかく今の目の前にあることをやりきってください。中途半端でなく、やりきれば、なにかが見つかるとは思いません。だったら、たとえばバ